

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名 | 猿倉の泉おもてなし事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 羽場まちづくり委員会猿倉の泉愛護会 |
| 事業区分 | (3)教育、文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 2,797,970 円 (うち支援金: 2,103,000 円) |

事業内容

- 高齢者の方々が来やすく安全な登山道の整備
野点に来られた高齢者、保存会の方、特に抹茶社中の方々は着物を着用して登ってこられるので、急坂となっている箇所は転倒の危険性があった。安全を確保するための登山道整備を地域住民の手で行った。
- 小学生野点体験
地域の小中学生が、整備した猿倉の泉を活用して野点を体験した。



【整備作業の様子】
【目標・ねらい】

事業効果

- ①高齢者が来やすくなった。登山道の丸太土留を擬木に替えて、急坂箇所は等間隔の階段状態にし、泉に来られる人の上り下りの危険性がなくなった。
10月最初の日曜日、高齢の女性が手を引いてもらいながら登ってこられ、「ずっと昔から茶道をやっていて楽しみにしていた。今日は来れて嬉しかった。」と言っていました。このように多くの人達に思ってもらえるような泉にしていきたい。
- ②降雨後、登山道を横断する小さな沢からの水が登山道に流れ込まなくなり、安全な登山道の維持管理・清掃なども容易になった。
- ③子供たちの野点体験によって、それぞれの家庭、そして地域に広がっていくと思います。子供のうちに「お抹茶を楽しむ」という非日常を体験することは、将来何かプラスになると思われま



※自己評価【B】

【理由】
擬木化が野点期間中に完成できなかった為、来客者の反応が少なかった。野点もコロナ対策により、1月半の中止期間があり、見込んでいた来客数に及ばなかった。

今後の取り組み

今年度は新型コロナウイルス感染対策で8月15日～9月26日まで野点は中止となって目標の500人達成とはならなかったが、来年度は登山道の急な部分に手すりを設けて高齢者がより来やすくしたい。また小中学生を野点に招待し、子供からお年寄りまで楽しめるようにしていきたい。保存会のメンバーが高齢化、特に泉の保存活動を積極的に行ってくれる方々が少なくなってきた。昨年度から猿倉の泉愛護会が設立され、曙友会と一緒にお手伝いをしているが、この2つの会と保存会が中心となり、今後の泉の保存や活用に関わる人を増やしていきたい。